

ベクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、同一波長のところと同様の強度の吸収を認める。

(3) 本品の水溶液(1 → 10)は塩化物の定性反応を呈する。

pH 本品 1.0 g を水 20 mL に溶かした液の pH は 1.3 ~ 2.5 である。

純度試験

(1) 溶状 本品 1.0 g を水 10 mL に溶かすとき、液は無色澄明である。

(2) 重金属 本品 1.0 g をとり、第 2 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 2.0 mL を加える(20 ppm 以下)。

(3) 類縁物質 本品 0.20 g をメタノール 10 mL に溶かし、試料溶液とする。この液 1 mL を正確に量り、メタノールを加えて正確に 200 mL とし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5 μL ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/エタノール(95)/アンモニア水(28)混液(150 : 95 : 1)を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これをヨウ素蒸気中に放置するとき、試料溶液から得た主スポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポットより濃くない。

乾燥減量 3.0 % 以下(1 g, 105 °C, 2 時間)。

強熱残分 0.20 % 以下(1 g)。

定量法 本品を乾燥し、その約 0.1 g を精密に量り、無水酢酸/酢酸(100)混液(7 : 3) 60 mL に溶かし、0.1 mol/L 過塩素酸で滴定する(電位差滴定法)。同様の方法で空試験を行い、補正する。

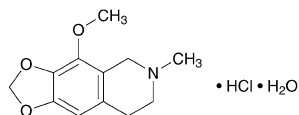
0.1 mol/L 過塩素酸 1 mL = 22.392 mg C₂₁H₂₇ClN₂O₂ · 2HCl

貯法 容器 気密容器。

塩酸ヒドロコタルニン

Hydrocotarnine Hydrochloride

ヒドロコタルニン塩酸塩



C₁₂H₁₅NO₃ · HCl · H₂O : 275.73

5,6,7,8-Tetrahydro-4-methoxy-6-methyl-1,3-dioxolo[4,5-g]-isoquinoline monohydrochloride monohydrate

[5985-55-7, 無水物]

本品を乾燥したものは定量するとき、塩酸ヒドロコタルニン(C₁₂H₁₅NO₃ · HCl : 257.71) 98.0 % 以上を含む。

性状 本品は白色～微黄色の結晶又は結晶性の粉末である。

本品は水に溶けやすく、エタノール(95)又は酢酸(100)にやや溶けにくく、無水酢酸に溶けにくい。

確認試験

(1) 本品の水溶液(1 → 10000)につき、紫外可視吸光度

測定法により吸収スペクトルを測定し、本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、同一波長のところと同様の強度の吸収を認める。

(2) 本品につき、赤外吸収スペクトル測定法の臭化カリウム錠剤法により試験を行い、本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、両者のスペクトルは同一波数のところと同様の強度の吸収を認める。

(3) 本品の水溶液(1 → 50)は塩化物の定性反応(2)を呈する。

pH 本品 1.0 g を水 20 mL に溶かした液の pH は 4.0 ~ 6.0 である。

純度試験

(1) 溶状 本品 0.5 g を水 10 mL に溶かすとき、液は澄明である。この液につき、水を対照とし、紫外可視吸光度測定法により試験を行うとき、波長 400 nm における吸光度は 0.17 以下である。

(2) 重金属 本品 1.0 g をとり、第 1 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 2.0 mL を加える(20 ppm 以下)。

(3) 類縁物質 本品 0.10 g を薄めたエタノール(1 → 2) 10 mL に溶かし、試料溶液とする。この液 1 mL を正確に量り、薄めたエタノール(1 → 2)を加えて正確に 100 mL とし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 10 μL ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲル(蛍光剤入り)を用いて調製した薄層板にスポットする。次にアセトン/トルエン/エタノール(99.5)/アンモニア水(28)混液(20 : 20 : 3 : 1)を展開溶媒として約 15 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線(主波長 365 nm)を照射するとき、試料溶液から得た主スポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポットより濃くない。

乾燥減量 7.0 % 以下(1 g, 105 °C, 3 時間)。

強熱残分 0.20 % 以下(1 g)。

定量法 本品を乾燥し、その約 0.5 g を精密に量り、無水酢酸/酢酸(100)混液(7 : 3) 50 mL を加え、加温して溶かす。冷後、0.1 mol/L 過塩素酸で滴定する(電位差滴定法)。同様の方法で空試験を行い、補正する。

0.1 mol/L 過塩素酸 1 mL = 25.771 mg C₁₂H₁₅NO₃ · HCl

貯法 容器 気密容器。